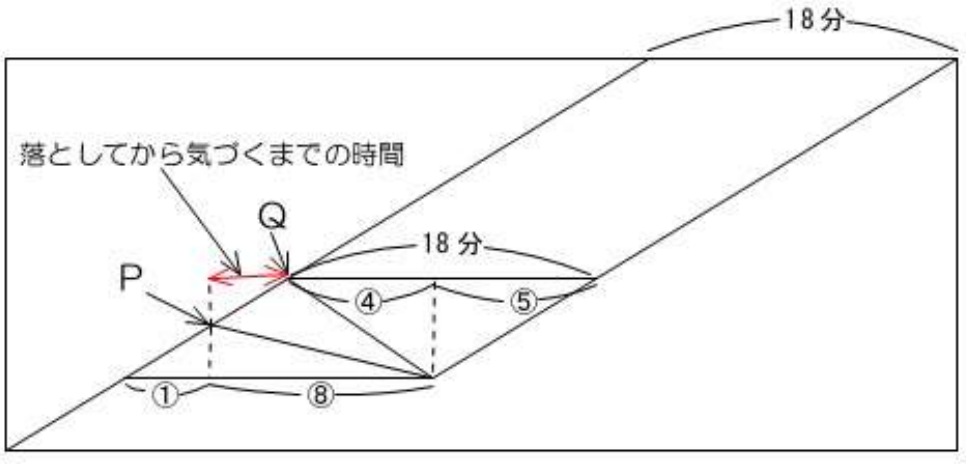
算数オンライン塾 3 月 24 日の問題解説



上りの速さは分速 450－50＝400m　下りの速さは 450＋50＝500m です。
P が浮き輪を落とした地点、Q は気が付いた地点です。
18 分遅れたので、Q で気が付いて、浮き輪を拾い Q に戻るまでの時間も 18 分になり、その間に下りは分速 500m、上りは分速 400m でいったので、かかる時間は下り；上り＝４：５だから気づいてから拾うまでの時間は 18÷（４＋５）×４＝8 分
またグラフから P から浮き輪が拾われる地点まで流れた時間は上りの速さ：流速＝８：１なので、流された時間は 18÷（１＋８）×8＝16 分
よって、落としてから気づくまでの時間は 16－8＝8 分

(答え) 8分